

# 事業計画書

令和6年度

施設名 中山地区センター

指定管理者 一般社団法人緑区区民利用施設協会

## 1 施設管理に関する基本方針

### (1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

### (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

### (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

### (4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

### (5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報保護の措置について

### (6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

### (7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

## 2 自主事業に関すること

### (1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

## 3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

## 1 施設管理に関する基本方針

### (1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

#### ①基本理念について

・緑区区民利用施設協会は平成7年に設立、平成28年度から一般社団法人となる。  
・「区民利用施設（地区センター、コミュニティハウス、スポーツ会館）の管理運営及び区民が参加する活動への支援等」を行い、区民を主体とした活動とふれあいを楽しめる地域社会の実現を基本理念。

・関係法令・条例等、地区センター利用要綱、提案書、事業計画書、  
＜中山地区センター運営方針＞

- 1 いつも親切に冷静に丁寧に、笑顔と「こんにちは」「ありがとうございました」で  
出迎え、心安らぐ場に
- 2 たくさんの人々が訪れ、楽しめる事業実施
- 3 公平な対応で接し、「もったいない」のサステナブル精神でスリム経営
- 4 「ハーモニーみどり」の一施設として、施設間の連携を密に

に基づく公平公正な管理運営。

・利用者からのニーズを踏まえ、文化活動・スポーツ活動など「地域に根ざし、区民に親しまれ、楽しめる施設」の実現。

#### ②予算の執行について

・電気、ガス代の増、賃金、物価上昇で設備保守点検、清掃委託料増など固定費支出増、財政硬直化の中、施設の老朽化による維持修繕も増大し、祝日や年末年始の臨時開館、利用料値上げを含む利用料収入増を目指す。

- ・経費節減に努め、利用者サービスを持続。
- ・経費の執行にあたり、新たな区民ニーズを捉え、リーズナブルで魅力ある事業展開。

#### ③サービスのあり方について

・社会教育と生涯学習の拠点を目指す。

・子どもにとって学校現場以外の身近な社会を体験できる、児童館のような場として、公共ルールを守ることを粘り強く教える。

・シニアへは、経済社会の動き、緑環境保全、ICT、モビリティ、ドローンなど先端技術による社会変革、国際情勢と人権尊重、多文化交流を伝える。

- ・「センター委員会」「利用者会議」「利用者意見箱」等により地域の力や知恵を反映。
- ・スタッフがセンター運営の要、ICT活用の業務情報共有や研修通じた人材育成。
- ・「広報よこはま」、ホームページ、「地区センターだより」で、事業PR。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

#### ①地域の特徴のとらえ方と運営の考え方

- ・中山地区センターの周辺は、JR 中山駅を基点に商業施設や新興住宅地、小中高校があり、昔からの地元住民と住宅開発地に住み始めた住民が共存。
- ・利用圏は、新治中部地区連合、山下地区連合で、利便性の良さから近隣にある会社や工場などに勤務する人々から子育て中の若い世代、子どもから高齢者まで、幅広い世代の交流の場が必要。
- ・バスやグリーンラインを利用し青葉、都筑、旭など周辺区の利便性も高く、ニーズにマッチングすれば集客が期待できる。
- ・子どもから高齢者まで、楽しめる施設運営と自主事業を行い、多様な交流と活動の場を提供。
- ・子育て世代や保護者への支援として、近隣の小中学校と連携し、マナーや学力の向上に貢献。
- ・中山駅南口商店街を中心とした街の魅力の再発掘と発信を目指す。

#### ②地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

- ・多様な地域団体と連携してニーズ把握と事業化を目指す。
- ・センター委員会や利用者会議、利用者意見箱の常設、自主事業アンケートで利用者の声を把握、PDCAサイクルにより運営へ反映。
- ・リピーターの多い事業は継続開催、新規事業や多文化フェア、ハーモニーみどりふれあいまつりの開催など多角的に対応。

#### ③併設施設、他施設、地域活動する団体、との連携

- ・SMALL TOWN LIBRARY 事業により、多様な地域団体と連携した事業展開～緑区ガイドボランティアの会（中山商店街魅力探し）、GreenEXPO2027（シドモア桜と花を見に行こう、野菜たっぷり栽培収穫体験）、みどり国際交流ラウンジ（多文化フェア）、レモンの庭（Esports）、753 ヴィレッジ（まねき市出展アーティスト作品）、横浜繊維振興会（スカーフと緑区）、NPO 芸術で人々をつなぐ PowWow（ミュージカル体験 W/S）、復曲能を観る会（能に親しむ）
- ・複合施設内4施設とは、各施設目的の達成や「ハーモニーみどり」の安全な管理運営の面から、月1回の施設長会で、連携を深め、ケアプラザと共催事業実施。
- ・区内6つのコミュニティハウス・十日市場スポーツ会館との連携を密にするため、定期的に組織内の情報共有とサステナブルな運営努力。また、全市的な事務局長および事務局員会議を活用し、情報の収集や業務の改善。
- ・市や区からの委託・依頼等を受けた事業や、健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等、公益事業の優先利用や減免。また、自主事業終了後に結成された団体へ、会員募集や優先利用など、継続的な活動サポート。

- ・近隣自治会等の地域活動の拠点や集会に活用。
- ・プレイルームで行う緑区子ども家庭支援課の子育て支援者の場。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

#### ①サービス提供に関する基本的な考え方

・地域の方々が、また利用したいと思うサービスを提供。新型コロナウイルス感染防止に十分配慮し、消毒液を要所に配置し、利用者の協力を得て消毒。明るくコミュニケーションを図り、わいわいがやがやした雰囲気、体力づくりや文化活動、地域交流が生れる場づくり。

・ニーズにあった楽しめる自主事業を企画するとともに、より多くの方々が、参加できるよう広報に注力。

・受付にはスタッフなど1名を配置し、公平なサービスの提供を行い、利用受付時や利用の終了時の「こんにちは」「ありがとうございました」の声掛け。

#### ②施設利用に関する取扱いについて

・条例、利用要綱、マニュアル等に基づき、公平な運営。

・優先利用や利用料の減免については、利用者の立場で弾力的な運用も含め、適正に運用。

#### ③活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

・利用方法や団体メンバー募集について、分かりやすく掲示。

・職員間で情報やノウハウの共有に努め、コーディネート能力を養成。

#### ④ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

・利用者意見箱などの意見等は、よりよいサービスを提供するため、運営に役立てるとともに、本人回答、館内掲示、各種会議で公表。

・情報公開の取扱いについては、「中山地区センター情報公開規程」に沿った慎重対応。

・事業計画書及び報告書、自主事業計画書及び報告書や、センター委員会、利用者会議等の資料は、窓口で閲覧可能。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

#### ①本年度の経営に関する基本方針について

- ・「親しまれ、楽しめる施設」の実現を目指す。経営にあたって、電気、ガス代の増、賃金、物価上昇で設備保守点検、清掃委託料増など固定費支出増、財政硬直化の中、施設の老朽化による維持修繕も増大し、祝日や年末年始の臨時開館、利用料値上げを含む利用料収入増を目指す。
- ・経費節減に努め、利用者サービスを持続。
- ・経費の執行にあたり、新たな区民ニーズを捉え、リーズナブルで魅力ある事業展開。
- ・ICT活用した受付など、便利で安心して利用できる管理を実施。
- ・個人情報保護・金銭執行管理・業務執務執行管理の適性を期す。
- ・全てのスタッフの技術を結集し、サービス向上。

#### ②効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

- ・費用対効果を常に考え、ICTを活用した効率良い管理とコスト削減。
- ・インターネット予約を推奨し、部屋の稼働率向上。
- ・電気配線、備品の修繕、スポーツ用具の簡単な手入れなど簡易な整備は、スタッフ自前で実施。
- ・施設のメンテナンス経費について、仕様書や単価のチェック・見直しを行う。
- ・備品の更新にあたっては、リサイクル品や新古品の購入。
- ・電気、ガス代の増を抑えるため、不要な照明消灯、冷暖房の温度設定を、館内点検時等にきめ細かくチェックし、省エネ励行。

#### ③横浜市の環境対策に対する取組みについて

- ・太陽光発電システムにより体育室照明に供給。
- ・LED照明への交換費用を捻出しながら計画実施。
- ・センター利用者には、ごみの持ち帰りを徹底するとともに、センターから出るごみは分別し資源化。
- ・ペットボトルのふたについては、別途分けて収集し、NPO法人を通してワクチンなどの購入費用に充てる活動に協力。



## 1 施設管理に関する基本方針

### (5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

#### ①職員の配置及び採用について

・センター長1名、チーフコーディネーター1名、サブコーディネーター2名、コミュニティスタッフ12名、作業スタッフ2名の18名を配置します。センター長かチーフコーディネーター又はサブコーディネーター1名及びスタッフ2名を配置し、円滑に運営しています。

職 種		人数	雇用形態・勤務体制		
センター長		1名	常勤	早番： 8:45~16:45	1日2～3名が勤務、4名でローテーション (日祝日は1名で17時15分まで)
チーフコーディネーター		1名		遅番： 13:15~21:15	
サブコーディネーター		2名	非常勤	早番： 8:45~15:45 遅番： 14:15~21:15	
ス タ フ	午前	4名	非常勤	9:00~13:00	1日に2名ずつ勤務、半月ごとにローテーション
	午後	4名		13:00~17:00	
	夜間	4名		17:00~21:00	
	作業	2名		8:00~11:00	1日1名勤務、半月ごとにローテーション

#### <職員の採用>

・センター長には、施設管理・運営や地域活動、多文化交流、防災に経験を有する者のうち適格者を、チーフコーディネーターやサブコーディネーター、スタッフは、公募により「地域の施設は地域の人材で運営」を基本に、近隣地域から職務経験・地域活動への理解や技術、適性を考慮し採用。

・スタッフは短時間勤務で、より多くの地域人材を活用。公募にあたっては、自治会等の回覧、周知。

#### ①職員の研修計画について

・施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、業務研修、地域活動研修、防犯研修、消防救助訓練、人権研修、個人情報保護研修等、施設協会研修計画に沿って実施。

・年2回の「ハーモニーみどり合同避難訓練」に参加し、実地対応能力の向上や施設間の連携を強化。

・センター長には、地域社会動向や経済情勢など経営判断に資するネットワーク構築、チーフコーディネーター及サブコーディネーターには、企画力の向上を目指す生涯学習関係の研修など、積極的に参加。

## ②個人情報の保護の措置について

### ・「個人情報取扱特記事項」

- 1 業務遂行に必要な範囲でのみ個人情報収集（4条）
- 2 収集した個人情報を業務遂行以外の目的で使用しない（5条1号）
- 3 収集した個人情報を複製しない（5条2号）
- 4 収集した個人情報を外部に持ち出さない（5条3号）

を徹底。

・「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」、「個人情報取扱特記事項」、「地区センター等個人情報保護方針」を遵守し、適切に取り扱うよう研修等を通じ、職員に徹底。

・センター長を個人情報保護責任者とする個人情報保護体制を確立、取得した個人情報は、条例等に定めている場合以外非開示。

・「個人情報取扱特記事項」に基づく安全管理措置を実施し、施錠できる書庫への保管、シュレッダーによる処理、持ち出し禁止・コピー禁止、パソコンの施錠・パスワード設定、記録媒体の施錠管理などの個人情報漏洩防止策を徹底。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

#### ①防犯、防災の対応について

- ・安心・安全に利用できる地区センターを目指し、防犯、防災の対応は、センター長を対応責任者とし、各対応マニュアルに基づき、迅速・的確に初動体制をとって対応。
- ・緊急連絡網を作成し、区・関係機関等へ迅速に連絡し、連携。
- ・当協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を、機会を捉えてスタッフに確認。
- ・日常点検時に、点検実施表を用いて1日7回以上館内外の確認。
- ・閉館時の防犯、防災については、警備会社と契約。
- ・万が一、施設で発生した損害賠償等に対応するため、施設賠償責任保険に加入し、対人2億円の補償を確保。
- ・「子ども110番」、「警察官立寄所」など、地域の防犯に積極的に協力。
- ・防災については、センター長を「防火責任者」とし、防災計画を策定、消防署と連携して、避難訓練1回、消防訓練（施設合同）を2回実施。AEDの取扱い訓練も年1回実施。
- ・区との「災害時における施設利用の協力に関する協定」に基づき、住民の避難場所の運営。
- ・27年度から編成された帰宅困難者対応班として、帰宅困難者発生時に300人規模の受け入れ体制を整備。
- ・防犯については、警察官による研修実施。

#### ②その他緊急時の対応について

- ・館内外で事故等が発生した場合は、速やかに救急救助・警察・区等関係機関へ連絡・報告し、各機関と連携して迅速・適切な緊急対応。
- ・被害者の応急措置や家族への連絡、付き添い等を適切にできるよう、研修等で職員に徹底。
- ・特に、小中学生のトラブルについては、学校との連携を密にし、子どもの健全育成に配慮した対応。

## 1 施設管理に関する基本方針

### (7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

#### ①建物・設備等の保守・点検について

- ・賃金、物価上昇により保守点検委託料が値上がり。
- ・建物内外の損傷状況、エレベーター（フルメンテナンス契約）、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水、衛生設備などの保守点検は、専門業者に委託。
- ・不調・不具合が発見された時は、早急に修繕対応。
- ・建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが効率よく漏れなく確認できるよう点検実施表を用い毎日7回点検を行います。
- ・利用者の退出後に、その都度設備・備品に異常がないか確認。

#### ②清掃業務について

- ・賃金、物価上昇により清掃業務委託料が値上がり。
- ・毎日の日常清掃は、床・トイレ清掃、拭き掃除など作業スタッフ実施。
- ・定期的な清掃は、専門業者に委託。
  - 毎月実施：カーペット清掃、トイレ清掃
  - 隔月実施：床・ワックスかけ
  - 年6回実施：ガラス清掃
  - 年4回実施：換気扇・空調フィルターなど
  - 年2回実施：バルコニー清掃、屋上清掃など

#### ③植栽・樹木の維持管理について

- ・GreenEXPO2027とタイアップ植樹されたシドモア桜の育成。
- ・複合施設内4施設との連携により環境保全と緑化実施。
  - 年2回剪定・消毒

## 2 自主事業に関すること

### (1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

#### ①自主事業について

- ・気軽に参加でき楽しめる事業を企画・実施し、参加者の増加を目指すとともに、「いきいきと心豊かな生活を送るきっかけづくりや仲間づくり」をコーディネート。
- ・加えて、シーズンおりのタイムリーな単発事業を実施。(令和6年度予定 28 事業 183 回実施)
- ・ニーズや地域特性を踏まえ、バラエティに富んだ講座を実施。
  - 「野菜たっぷり栽培収穫体験」「ぶらりタウンウォーキング」
- ・地域住民を対象に、当地区センター連携団体の協力を得て、年代各層が交流できる場。
  - 「多文化フェア」「ハーモニーみどりふれあいまつり」
- ・楽しく交流しながら体力・健康づくりや文化活動など生活の幅を広げる講座。
  - 「イキイキ健康体操」「ZUMBA」「共読講座」「能に親しむ」「書道講座」
- ・国際化が進む中、地域の子どもたちが日本の良き伝統文化を認識し、国際交流のきっかけづくりを目的とした講座。
  - 「多文化フェア」「小学生の書き初め」「なかやま笑劇場」
- ・小中学生を対象に、普段経験できないことを体験できる講座
  - 「ドイツものづくり体験」「Esports」「子どものアトリエ油絵教室」「ミュージカル体験W/S」
- ・スポーツを通じて地域の教育力を高め公共施設の利用マナーを育む。
  - 「親子バドミントン教室」

#### ②自主事業の運営方法について

- ・参加しやすいよう、予定数を超えた場合は、講師と調整。
- ・自主事業で育った団体には、会員募集や部屋の優先利用などの支援を一定期間続け、継続的な活動を側面からサポート。
- ・講師には、資格を持つ区内人材の有効活用。
- ・アンケートを行い、PDCA サイクルにより検証。

#### ③PRの強化について

- ・「広報よこはま」、「地区センターだより」、みどりーむに情報提供、ホームページに掲載。講座チラシを配架。
- ・ケーブルテレビやミニコミ誌など各媒体に活動内容をPR。

### 3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて  
(目標 稼働率67%)
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて  
(目標 利用料金収入 4,592千円)
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

#### (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて (目標 稼働率67%)

- ・ 祝日夜間 (17:00~19:00)、年末年始 (9:00~19:00) に臨時開館を実施。
- ・ 窓口受付を廃止し、インターネットか電話受付で抽選予約可能になり、団体は5小間、未登録者は2小間申込が可能。抽選結果公表後は、できるだけ空き室が出ないように、団体利用小間数を無制限に。
- ・ 稼働率の低い料理室は、料理の講座「各種パン作り講座」「小学生・親子クッキング教室」などを実施。特に、料理室の活用は、会食のみ、あるいは楽器の練習、会議など状況に応じて柔軟に運用。

#### (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて (目標 4,592千円)

- ・ 祝日夜間 (17:00~19:00)、年末年始 (9:00~19:00) に臨時開館を実施。
- ・ 利用料金値上げを申請。

#### (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

- ・ ニーズや地域特性を踏まえ、バラエティに富んだ講座を実施。
  - 「野菜たっぷり栽培収穫体験」「ぶらりタウンウォーキング」
- ・ 地域住民を対象に、当地区センター連携団体の協力を得て、年代各層が交流できる場。
  - 「多文化フェア」「ハーモニーみどりふれあいまつり」
- ・ 楽しく交流しながら体力・健康づくりや文化活動など生活の幅を広げる講座。
  - 「イキイキ健康体操」「ZUMBA」「共読講座」「能に親しむ」「書道講座」
- ・ 国際化が進む中、地域の子どもたちが日本の良き伝統文化を認識し、国際交流のきっかけづくりを目的とした講座。
  - 「多文化フェア」「小学生の書き初め」「なかやま笑劇場」
- ・ 小中学生を対象に、普段経験できないことを体験できる講座
  - 「ドイツものづくり体験」「Esports」「子どものアトリエ油絵教室」「ミュージカル体験W/S」
- ・ スポーツを通じて地域の教育力を高め公共施設の利用マナーを育む。
  - 「親子バドミントン教室」

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

- ・地区センターの目標は、職員全員の目標として共有し、「達成するためにどのような貢献ができるか」をひとり一人が考え、SMALL TOWN LIBRARY 事業の企画、展示や地区センターだよりの編集、ICT 利用統計処理など、サービスの向上に取り組む。
- ・スタッフ自作ペーパーサートのデコレーションなど、楽しめる場づくり。

# 自主事業計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
絵本の読み聞かせ 9回(月1日)	未就学児と保護者	18,000	18,000	0	18,000	0	0
	10人						
	無料						
保育相談(区役所と連携) 95回(毎週2日)	未就学児と保護者	0	0	0	0	0	0
	12人						
	無料						
おもちゃ病院 4回(各1日)	未就学児と保護者	23,000	23,000	0	18,200	0	4,800
	18組						
	無料						
落語演芸会 1回	どなたでも	11,000	(13,000)	24,000	6,000	0	5,000
	80人						
	300円						
子どもミュージカル入門講座 1回(6日)	小学生～高校生	68,000	28,000	40,000	60,000	0	8,000
	10人						
	4,000円						
IT講習会 年2回	どなたでも	20,000	0	20,000	10,000	4,000	6,000
	10人						
	1,000円						
子どもの油絵教室 1回(3日)	小学生	72,000	12,000	60,000	27,000	40,000	5,000
	10人						
	6,000円						
親子バドミントン教室 2回(各5日)	小学生と保護者	129,000	14,000	115,000	100,000	9,000	20,000
	23組						
	1組5,000円						
シニア 健康体操 5回(各10日)	概ね60歳以上	370,000	(130,000)	500,000	250,000	30,000	90,000
	20人						
	5,000円						
ZUMBA健康体操 4回(各10日)	成人	303,000	(177,000)	480,000	200,000	14,000	89,000
	20人						
	6,000円						
読書講座 1回(2日)	成人	11,200	4,200	7,000	10,000	0	1,200
	10人						
	700円						
季節の洋菓子作り講座 2回(各1日)	成人	49,000	9,000	40,000	12,000	34,000	3,000
	10人						
	2,000円						
親子クッキング講座 1回	小学生と保護者	15,300	5,300	10,000	6,500	7,500	1,300
	5組						
	2,000円						



事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
野菜栽培収穫体験講座 座学2回(現地畑:毎週)	成人	70,000	14,000	56,000	20,000	50,000	0
	8人						
	7,000円						
手芸講座 2回(各1日)	成人、親子	30,000	8,000	22,000	10,000	18,000	2,000
	各10人						
	1,000~1,600円						
アクセサリ作り講座 1回	成人	30,000	0	30,000	5,000	24,000	1,000
	10人						
	3,000円						
書道講座 1回(3日)	成人	27,500	2,500	25,000	19,500	5,000	3,000
	10人						
	2,500円						
小学生の書道講座 2回(1日)	小学生	8,000	0	8,000	6,000	1,000	1,000
	16人						
	500円						
能講座 1回(5日)	成人	133,000	47,000	86,000	15,000	114,000	4,000
	10人						
	8,600円						
地元工場見学 年1回	小学生親子	0	0	0	0	0	0
	8人						
	無料						
職業探し体験講座 年1回	小学生親子、中学生	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	8人						
	無料						
タウンウォーキング 2回(各1日)	どなたでも	19,000	7,000	12,000	14,000	3,000	2,000
	各12人						
	500円						
多文化フェア 年1回	どなたでも	0	0	0	0	0	0
	300人						
	無料 ニーズ費で対応						
ハーモニーみどり ふれあいまつり 年1回	どなたでも	0	0	0	0	0	0
	500人						
	無料 ニーズ費で対応						
合計		1,410,000	(125,000)	1,535,000	810,200	353,500	246,300

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絵本の読み聞かせ	<p>(目的) 絵本に興味をもち始めた未就学児を対象に本の読み聞かせをします。</p> <p>(内容) 絵本、紙芝居、大型絵本の読み聞かせをします。季節感のある簡単工作で喜んでいただきます。お友だちとのコミュニケーションの場作りにもなります。</p>	<p>9回/年 (2月～4月除く)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保育相談 (区役所と連携)	<p>(目的) 幼稚園や保育所で集団生活を始める前の乳幼児を対象に、区役所から派遣された子育て支援者による、育児アドバイスの場です。</p> <p>(内容) 手遊びやおもちゃ遊びのほかに、育児相談や仲間作りのきっかけ作りとなります。</p>	<p>毎週2回 95回 火曜、金曜開催</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ病院	<p>(目的) 壊れたおもちゃを直す過程を見ることで、おもちゃの仕組みを知ることができ、物を大切に作る心を養います。</p> <p>(内容) 事前予約制。おもちゃのドクターが、目の前でおもちゃを修理します。修理代は、無料(部品を交換した場合、一部有料)です。</p>	<p>4回/年</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
落語演芸会	<p>(目的) 日本の伝統娯楽である落語の楽しさを広めます。</p> <p>(内容) 昨年に引き続き、横浜市内を中心に活躍している落語家による楽しい会を催します。(共催：中山地域ケアプラザ)</p>	<p>1回/年</p>

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもミュージカル入門講座	<p>(目的) 小中高校生を対象に有名なミュージカル曲で歌と踊りを体験できる講座を開催します。</p> <p>(内容) 昨年に引き続き元劇団員が講師となり、ミュージカルを体験できる場を作り、練習後は保護者などを対象に発表会を開催します。</p>	1～3月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
I T 講習会	<p>(目的) 日常生活に役立つデジタルサービスの利用の手助けになる講座を開催します。</p> <p>(内容) 主にシニア層を対象にデジタルサービスの活用講座、またe-sportsを通じてデジタルリテラシーの向上と重要性を伝え、活用するきっかけ作りのイベントを開催します。</p>	各1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども油絵教室	<p>(目的) 小学校の授業にはない油絵の講座を夏休みに開催します。</p> <p>(内容) 夏休みの人気の継続講座。参加者が画材の用意をしなくても、油絵が体験でき、夏休みの思い出、宿題にも役に立ちます。夏休み期間中、センター内に作品を掲示し、来館者にも鑑賞をしていただきます。</p>	7月～8月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子バドミントン教室	<p>(目的) バドミントンを通じ、小学生と保護者のふれあいを目的とします。</p> <p>(内容) 人気のある講座。昨年度に続き、今年度も年2回開催します。バドミントンの楽しさ、また打ち方の基礎的な技術を丁寧に指導します。</p>	9月、2月 各5回

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニア健康体操	<p>(目的) 概ね60歳以上を対象に、心身ともに健やかに、健康維持ができるよう運動をします。</p> <p>(内容) 人気のある講座で、継続して開催。音楽にあわせ、楽しく筋トレ・脳トレ・シルバービクスなどのいろいろな運動を経験していただけます。同年代のコミュニケーションの場を提供します。</p>	<p>ほぼ通年 10回(年5回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ZUMBA健康体操	<p>(目的) 成人を対象にした、ダンスエクササイズです。</p> <p>(内容) 人気のある講座で、昨年度に続き開催します。ラテン系の音楽にあわせ、インストラクターを手本にダンスをします。体幹トレーニングの要素もあり、楽しく健康促進を図ります。</p>	<p>ほぼ通年 10回(年4回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
読書講座	<p>(目的) 専門の講師が読書のあらたな楽しみ方を紹介し、地域の仲間づくり、コミュニティづくりにつなげます。</p> <p>(内容) 集まった参加者がおすすめる本を紹介、人それぞれの読み方に触れられ、コミュニケーションを楽しみながら、読書に対しての興味が深まります。</p>	<p>2回(1日)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
季節の洋菓子作り講座	<p>(目的) 成人を対象に、季節の行事にも利用できる洋菓子作りの講座を開催します。</p> <p>(内容) 2月は、チョコレートを使った洋菓子、12月は、クリスマスのケーキを作ります。</p>	<p>2月、12月 各1回</p>

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子クッキング講座	<p>(目的) 料理の楽しさを知っていただき、また親子のふれあいの時間を作ります。</p> <p>(内容) 小学生と保護者を対象に季節のデザートを作る講座を開催します。</p>	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野菜栽培収穫体験講座	<p>(目的) GREEN×EXPO2027を盛り上げるため、緑区内にある栽培収穫体験ファームで、野菜を育てる体験を通し、農業の重要性に気付かせてくれる新講座です。</p> <p>(内容) 農園のオーナーの指導のもと、1年を通じて約20種類の季節の野菜を育て、収穫します。</p>	4月～1月 主に毎週土曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸講座	<p>(目的) 季節の裁縫や編み物など小物作りを通し、新たな趣味を提案します。</p> <p>(内容) 成人を対象(初心者でもできる)に、1回の講座で仕上がるものを作ります。</p>	不定期 2回(各1日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクセサリ作り講座	<p>(目的) 講師が豊富な材料を用意し、オリジナルのアクセサリが出来上がることで、心が豊かになる時間を過ごします。</p> <p>(内容) 成人を対象にアクセサリ作りの講座を開催します。様々な形のビーズで、ネックレスとイヤリングを作ります。</p>	5月 1回

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
書道講座	<p>(目的) 日常生活にも役立つ、書道の講座です。</p> <p>(内容) 初心者から経験者を対象に、オリジナルの手本で小筆や太筆でかな文字、漢字の書き方を指導します。また、小学生を対象に冬休みの宿題対応として書き初め講座を開催します。</p>	<p>4月、12月</p> <p>3回(大人向け)</p> <p>1回(小学生向け)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
能講座	<p>(目的) 能楽師を迎え、身近に能に触れる機会を作ります。</p> <p>(内容) 能の知識や演目の見どころについて学びます。講座後、実際に能の舞台を鑑賞し、より興味深く能を楽しんでいただきます。(2つの公演の鑑賞チケット付きで参加者募集)</p>	<p>4月・6月・7月</p> <p>3回(座学)</p> <p>5月・7月</p> <p>(公演)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地元工場見学	<p>(目的) 地元の企業の協力を得て、先端技術とものづくりの仕組みを楽しく学びます。</p> <p>(内容) 夏休みの小学生を対象に地元の工場を見学、ものづくりを体験できる場を設けます。</p>	<p>8月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
職業探し体験講座	<p>(目的) 小学生と保護者、中学生を対象に様々な職業を紹介します。将来の職業選択にイメージを持ってもらえる講座です。</p> <p>(内容) キャリアコンサルタントが、子どもに分かりやすいカードを使い、多様な職業を紹介します。</p>	<p>5月</p> <p>1回</p>

## 自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タウンウォーキング	<p>(目的) 地区センターから外に出て、中山のまちの魅力を再発見、そこで活動する人たちに会いに行き交流します。</p> <p>(内容) 中山界隈の歩みやGREEN×EXP02027につなぐ花とみどりを紹介し、地域の協力を得て、自分の住んでいるまちの新しい発見を体感する講座です。</p>	2回(1日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多文化フェア	<p>(目的) 地域の方に、様々な文化、パフォーマンス、グルメにふれる機会を作ります。</p> <p>(内容) 連携団体などの協力を得て、インド舞踊、ブラジルサンバなどのパフォーマンス、海外の食の体験を提供します。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハーモニーみどり ふれあいまつり	<p>(目的) 地域で活動する団体に「中山地区センター」を使って幅広い交流をしてもらい、複合施設全体を皆で楽しんでもらうよう、様々なイベントを実施します。</p> <p>(内容) 地区センターを利用している団体の活動成果発表や工作・手芸体験、ゲーム、飲食など家族揃って楽しめるプログラムを用意します。</p>	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

令和6年度 「中山地区センター」 収支予算書兼決算書  
(2024. 4. 1~2025. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	40,330,000		40,330,000		40,330,000	横浜市より
利用料金収入	4,592,000		4,592,000		4,592,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,535,000		1,535,000		1,535,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	385,000	0	385,000	0	385,000	
印刷代	10,000		10,000		10,000	
自動販売機手数料	320,000		320,000		320,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（自販機分担金）	50,000		50,000		50,000	
その他（利子他）	5,000		5,000		5,000	
<b>収入合計</b>	<b>46,842,000</b>	<b>0</b>	<b>46,842,000</b>	<b>0</b>	<b>46,842,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>23,146,000</b>	<b>0</b>	<b>23,146,000</b>	<b>0</b>	<b>23,146,000</b>	
給与・賃金	21,550,000		21,550,000		21,550,000	センター長・チーフ・マネージャー及び時給職員16名
社会保険料	1,356,000		1,356,000		1,356,000	
通勤手当	200,000		200,000		200,000	常勤職員
健康診断費	16,000		16,000		16,000	常勤職員
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
<b>事務費</b>	<b>1,377,000</b>	<b>0</b>	<b>1,377,000</b>	<b>0</b>	<b>1,377,000</b>	
旅費	11,000		11,000		11,000	出張旅費
消耗品費	328,000		328,000		328,000	事務消耗品費
会議賄い費	16,000		16,000		16,000	
印刷製本費	260,000		260,000		260,000	
通信費	343,000		343,000		343,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000		40,000	
職員等研修費	25,000		25,000		25,000	
振込手数料	22,000		22,000		22,000	
リース料	64,000		64,000		64,000	
手数料	68,000		68,000		68,000	
地域協力費	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>1,410,000</b>	<b>0</b>	<b>1,410,000</b>	<b>0</b>	<b>1,410,000</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,410,000		1,410,000		1,410,000	
自主事業費	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>14,527,000</b>	<b>0</b>	<b>14,527,000</b>	<b>0</b>	<b>14,527,000</b>	
光熱水費	8,500,000	0	8,500,000	0	8,500,000	
電気料金	4,885,000		4,885,000		4,885,000	
ガス料金	2,551,000		2,551,000		2,551,000	
水道料金	1,064,000		1,064,000		1,064,000	
清掃費	1,900,000		1,900,000		1,900,000	定期清掃費
修繕費	715,000		715,000		715,000	
機械警備費	181,000		181,000		181,000	
設備保全費	3,231,000	0	3,231,000	0	3,231,000	
空調衛生設備保守	910,000		910,000		910,000	
消防設備保守	166,000		166,000		166,000	
電気設備保守	123,000		123,000		123,000	自家用電気工作物
設備総合巡視点検	330,000		330,000		330,000	
空調自動制御装置保守	377,000		377,000		377,000	
エレベーター	320,000		320,000		320,000	
自動ドア	98,000		98,000		98,000	
植栽管理	350,000		350,000		350,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費・1	289,000		289,000		289,000	空気測定・残留塩素・環境衛生選任・温水ヒーター点検
その他保全費・2	218,000		218,000		218,000	ウォーター・水質検査、保守点検
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>2,647,000</b>	<b>0</b>	<b>2,647,000</b>	<b>0</b>	<b>2,647,000</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,423,000		2,423,000		2,423,000	
印紙税	20,000		20,000		20,000	
その他（県・市民税他）	204,000		204,000		204,000	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>2,174,000</b>	<b>0</b>	<b>2,174,000</b>	<b>0</b>	<b>2,174,000</b>	
本部分	2,174,000		2,174,000		2,174,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
<b>二一ス対応費</b>	<b>1,561,000</b>	<b>0</b>	<b>1,561,000</b>	<b>0</b>	<b>1,561,000</b>	
<b>支出合計</b>	<b>46,842,000</b>	<b>0</b>	<b>46,842,000</b>	<b>0</b>	<b>46,842,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業費収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		



令和6年度 中山地区センター利用料金収入決算内訳

(単位:円)

項目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明(内容、積算等)
利用料金収入	4,592,000					
体育室	1,410,000					
会議室	2,066,000					
会議室A	1,200,000					
会議室B	866,000					
料理室	100,000					
和室	520,000					
工芸室	496,000					

## 令和6年度（中山地区センター）自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組（改善計画）	自己評価												
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山駅を基点に商業施設や新興住宅地、小中高校があり、昔からの地元住民と、住宅開発後に住み始めた住民が共存。</li> <li>・利用圏は、新治中部地区連合、山下地区連合で、利便性の良さから近隣にある会社や工場などに勤務する人々から子育て中の若い世代、子どもから高齢者まで、幅広い世代の交流の場。</li> <li>・バスやグリーンラインを利用し青葉、都筑、港北、旭など周辺区からの利便性が良く、集客が期待</li> <li>・子どもから高齢者まで、誰でも気軽に利用できる施設運営と自主事業を行い、多様な交流と活動の場を提供。</li> <li>・子育て世代や保護者への支援として、近隣の小中学校と連携し、マナーや学力の向上に貢献。</li> <li>・中山駅南口商店街を中心とした街の魅力の再発掘と発信を目指す。</li> </ul> <p><b>【数値目標】入館者数 令和元年度同水準 98,000 人</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 16.6%;">H30年度</th> <th style="width: 16.6%;">R1年度</th> <th style="width: 16.6%;">R2年度</th> <th style="width: 16.6%;">R3年度</th> <th style="width: 16.6%;">R4年度</th> <th style="width: 16.6%;">R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>118,093</td> <td>98,019</td> <td>48,222</td> <td>69,554</td> <td>73,128</td> <td>79,082</td> </tr> </tbody> </table>	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	118,093	98,019	48,222	69,554	73,128	79,082			
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度										
	118,093	98,019	48,222	69,554	73,128	79,082										
<p>ウ 公の施設としての管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市や区からの委託・依頼等を受けた事業や、健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等、公益上必要と認められる事業には、センターの優先利用や減免。</li> <li>・自主事業終了後に結成された団体に、会員募集や優先利用など、継続的な活動をサポート。</li> <li>・近隣自治会等の地域活動の拠点や集会での活用。</li> <li>・利用者の立場に立って公平・公正を基本に運営。優先利用や利用料の減免については、公平性を損なわない範囲で弾力的な運用。</li> </ul>																
<p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な地域団体と遠景してニーズ把握と事業化を目指す。</li> </ul>																

	<p>・センター委員会や利用者会議を開催、利用者意見箱の常設、自主事業アンケートなど、地域や利用者の声を把握。</p> <p>・リピーターの多い事業は継続開催、新規事業や多文化フェア、ハーモニーみどりふれあいまつりの開催など多角的に対応。</p> <p><b>【数値目標】 施設備品購入・環境整備 R5年度30件 ⇒ R6年度30件</b></p>																																						
	<p>オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>・地域の方々が、また利用したいと思うサービスを提供。</p> <p>・明るくコミュニケーションを図り、利用しやすい雰囲気、活動や地域交流が生れる場づくり。</p> <p>・利用者意見箱は、よりよいサービスを提供するため、運営に反映。</p> <p><b>【定性目標】 笑顔と声掛けで利用者を迎え、心安らぐサービスの提供</b></p>																																						
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">業務運営</p>	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>・職員は、センター長1名、チーフコーディネーター1名、サブコーディネーター2名、コミュニティスタッフ12名、作業スタッフ2名の18名を配置。職員1名とスタッフ2名を配置。</p> <p><b>【定性目標】職員・スタッフの急病への対応のため円滑に交代要員確保。</b></p> <table border="1" data-bbox="293 799 1039 1337"> <thead> <tr> <th colspan="2">職種</th> <th>人数</th> <th colspan="3">雇用形態・勤務体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">センター長</td> <td>1名</td> <td rowspan="3">常勤</td> <td>早番 8:45 ~ 16:45</td> <td rowspan="3">1日2~3名が勤務、4名でローテーション（祝日は1名で17:15まで）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">チーフコーディネーター</td> <td>1名</td> <td>遅番 13:15 ~ 21:15</td> </tr> <tr> <td colspan="2">サブコーディネーター</td> <td>2名</td> <td>早番 8:45~15:45 遅番 14:15 ~ 21:15</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">スタッフ</td> <td>午前</td> <td>4名</td> <td rowspan="3">非常勤</td> <td>9:00~13:00</td> <td rowspan="3">1日2名勤務、半月ごとにローテーション</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>4名</td> <td>13:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>4名</td> <td>17:00~21:00</td> </tr> <tr> <td>作業</td> <td>2名</td> <td>8:00~11:00</td> <td>1日1名勤務、半月ごとにローテーション</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 緊急時の体制と対応計画</p> <p>・安心・安全に利用できる地区センターを目指し、防犯、防災の対応は、センター長を責任者とし、各対応マニュアルに基づき、迅速・的確に初動体制を。</p>	職種		人数	雇用形態・勤務体制			センター長		1名	常勤	早番 8:45 ~ 16:45	1日2~3名が勤務、4名でローテーション（祝日は1名で17:15まで）	チーフコーディネーター		1名	遅番 13:15 ~ 21:15	サブコーディネーター		2名	早番 8:45~15:45 遅番 14:15 ~ 21:15	スタッフ	午前	4名	非常勤	9:00~13:00	1日2名勤務、半月ごとにローテーション	午後	4名	13:00~17:00	夜間	4名	17:00~21:00	作業	2名	8:00~11:00	1日1名勤務、半月ごとにローテーション		
職種		人数	雇用形態・勤務体制																																				
センター長		1名	常勤	早番 8:45 ~ 16:45	1日2~3名が勤務、4名でローテーション（祝日は1名で17:15まで）																																		
チーフコーディネーター		1名		遅番 13:15 ~ 21:15																																			
サブコーディネーター		2名		早番 8:45~15:45 遅番 14:15 ~ 21:15																																			
スタッフ	午前	4名	非常勤	9:00~13:00	1日2名勤務、半月ごとにローテーション																																		
	午後	4名		13:00~17:00																																			
	夜間	4名		17:00~21:00																																			
	作業	2名	8:00~11:00	1日1名勤務、半月ごとにローテーション																																			

- ・緊急連絡網を作成し、区・関係機関等へ迅速に連絡。
  - ・協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を、スタッフへ確認。
  - ・日常点検時に、点検実施表を用いて館内外の防犯防災、事故防止に。
  - ・施設で発生した損害賠償等に対応するため、対人 2 億円の補償確保。
  - ・「子ども 1 1 0 番」、「警察官立寄所」など、地域の防犯に積極協力。
  - ・防災はセンター長を「防火管理者」とし、防災計画を策定、消防署と連携して、避難訓練 1 回、消防訓練（施設合同）を 2 回実施、AED の取扱い訓練も年 1 回実施。
  - ・区との「災害時における施設利用の協力に関する協定」に基づき、住民の避難場所としての運営
  - ・館内外で事故等が発生した場合は、速やかに救急救助・警察・区等関係機関へ連絡・報告し、各機関と連携して迅速・適切な緊急対応。その際、被害者の応急措置や家族への連絡、付き添い等を適切に。
  - ・小中学生のトラブルは、学校との連携を密にし、子どもの健全育成に配慮した対応。
  - ・27 年度から編成した帰宅困難者対応班で、災害時等に迅速対応。
- 【定性目標】「緊急時マニュアル」を職員スタッフ一同が把握し、人命の保護を第一に行動。

(4)ア 設置理念を実現する運営内容

・緑区区民利用施設協会は、区と連携、区民利用施設の管理運営及び区民が参加する活動への協力等を通じて、区民を主体とした活動とふれあいのある生き生きとした地域社会の実現に貢献していくことを目的。

<緑区区民利用施設協会執務方針>

区民サービスの向上と効率的な運営を基本に業務の質の向上に努めます。

- ・お客様の声をよく聞き、快適で満足度の高い施設環境を提供します。
- ・お客様が安全に安心して利用できるよう万全な危機管理を行います。
- ・個人情報保護・金銭執行管理・執務執行管理を適正に行います。
- ・職員間の情報共有を進め、コミュニケーションを密にします。

イ 利用促進策

H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
63.0%	66.4%	52.9%	66.0%	61.1%	67%

- ・窓口での予約受付を止め、電話受付に変更。令和元年度から月単位で予約を申し込む方法に切り替え、毎月 1 1 日の抽選結果公表後は、空き室が出ないよう、利用コマ数を無制限に。
- ・自主事業は、ニーズを踏まえた、誰もが気軽に参加できる事業を。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理室は、幅広い年代層が参加できる講座、季節の行事にちなんだ教室を実施。会食のみ、楽器の練習、会議など柔軟対応。</li> <li>・広報よこはま、地区センターだより等の活用、ホームページの情報更新。</li> <li>・設備・備品の充実により安全で快適な施設に。</li> </ul> <p><b>【数値目標】</b></p> <p><b>稼働率 前年度の実績を踏まえ 67%</b></p>			
	<p>キ 本市重要施策に対する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」にのっとり、情報公開規程を作成し、指定管理業務に関わる情報の公開に対応。</li> <li>・スタッフを対象とした研修を進め、人権感覚を高める。</li> <li>・「3R夢プラン」の取組みを利用者とともに進める。</li> <li>・こまめな消灯により光熱水費の削減。</li> <li>・センターから出るごみは極力抑制し、分別は徹底して資源化。ペットボトルのふたは分けて収集し、NPO 法人を通してワクチンなどの購入費用に充てる活動に協力。</li> <li>・施設管理業務委託や物品購入については、市内の中小企業への発注。</li> <li>・ELV・多目的トイレ、サンタリーボックスを設置、障がい者対応を心掛け。</li> </ul>			
	<p>ク アイデア提案を募った項目（該当施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区センターの目標は、職員全員の目標として共有、「達成するためにはどうしたらよいか、どのような貢献ができるか」をひとり一人が考え行動。</li> <li>・職員意識と組織力を高め、課題解決力の向上へ。</li> <li>・館内に観葉植物を飾り、居心地の良い雰囲気づくり。</li> </ul>			
	<p>(5) 自主事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に参加でき楽しめる事業企画</li> <li>・「いきいきと心豊かな生活を送るきっかけづくりや仲間づくり」をコーディネート</li> <li>・シーズンおりのタイムリーな単発事業。（令和6年度予定 28事業 183回実施）</li> </ul> <p>&lt;自主事業&gt;</p> <p>ア ニーズや地域特性を踏まえ、バラエティに富んだ講座 →「野菜たっぷり栽培収穫体験」「ぶらりタウンウォーキング」</p> <p>イ 地域住民を対象、連携団体の協力を得て、多世代が交流できる場</p>			

	<p>→「多文化フェア」「ハーモニーみどりふれあいまつり」</p> <p>ウ 楽しく交流しながら体力・健康づくりや文化活動など生活の幅を広げる</p> <p>→「イキイキ健康体操」「ZUMBA」「共読講座」「能に親しむ」「書道講座」</p> <p>エ 国際化が進む中、地域の子どもたちが日本の伝統文化を認識し、国際交流のきっかけづくり</p> <p>→「多文化フェア」「小学生の書初め」「なかやま笑劇場」</p> <p>オ 小中学生を対象に、普段経験できない体験</p> <p>→「ドイツものづくり体験」「Esports」「子どものアトリエ油絵」「ミュージカル体験」</p> <p>カ スポーツを通じて地域の教育力を高め、公共マナーを育む</p> <p>→「親子バドミントン教室」</p> <p>&lt;自主事業の運営方法について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加しやすくするために、予定数を超えた場合講師と調整。</li> <li>・自主事業で育った団体には、会員募集や部屋の優先利用などの支援</li> <li>・講師には、資格を持つ区内人材の有効活用。</li> <li>・アンケートを行い、PDCA サイクルにより検証</li> </ul>			
	<p>(6) 施設の維持管理計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内外の損傷状況、ELV、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水衛生設備などの保守点検は、専門業者に委託。</li> <li>・不具合が発見された時は、緊急性、優先度の高い順に補修。</li> <li>・毎日の日常清掃は、床・トイレ清掃、拭き掃除など作業スタッフで。定期的な清掃は、専門業者に委託実施。毎月実施：カーペット清掃、トイレ清掃、隔月実施：床・ワックスかけ、年6回実施：ガラス清掃、年4回実施：換気扇・空調フィルターなど、年2回実施：バルコニー清掃、屋上清掃など</li> <li>・複合施設内4施設との連携により環境保全と緑化に努め、敷地内の植栽は、適切な時期（年2回）に剪定・消毒。</li> </ul> <p>【数値目標】R6年度 ELV 閉じ込め事故0件</p>			
職員育	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人人体制</p>			

成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済情勢の変化に伴い利用者のニーズも多様化する中、職員の能力・資質の向上。</li> <li>・施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、業務研修、接遇研修、防犯研修、消防救助訓練、人権・個人情報保護研修等、施設協会研修計画に則って実施。</li> <li>・年2回の「ハーモニーみどり合同避難訓練」に参加、実地対応能力の向上や施設連携強化。</li> <li>・センター長にはマネジメント研修、チーフコーディネーター及びサブコーディネーターには、企画力の向上を目指す生涯学習関係の研修などに参加。</li> </ul>													
	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」、「個人情報取扱特記事項」、「地区センター等個人情報保護方針」を遵守し、適正に。</li> <li>・センター長を個人情報保護責任者とする体制。取得した個人情報は、条例等に定めている場合以外は非開示。施錠できる書庫への保管、シュレッダーによる処理、持ち出し禁止・コピー禁止、パソコンの施錠・パスワード設定、記録媒体の施錠管理など、職員に徹底。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="293 671 1072 1209"> <thead> <tr> <th data-bbox="293 671 468 719">種 類</th> <th data-bbox="468 671 1072 719">研 修 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="293 719 468 839">採用時研修</td> <td data-bbox="468 719 1072 839">新規採用職員全員に対し、「協会の使命」「地区センターの目的と役割」「勤務内容（接遇含）」「人権・個人情報保護」「消防訓練」等の実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 839 468 999">業務・危機管理研修</td> <td data-bbox="468 839 1072 999">指導員・スタッフを対象に、接遇を始め日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」や、個人情報漏えい防止のため「個人情報保護研修」、A E Dや消火器操作の「消防救助訓練」、警察官を招いての「防犯研修」等の実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 999 468 1094">職場緊急研修</td> <td data-bbox="468 999 1072 1094">万が一事故事件が発生した時、又、他での事例が発生した時に、職場全体で問題や解決策を共有し、発生防止に努める</td> </tr> <tr> <td data-bbox="293 1094 468 1209">【数値目標】</td> <td data-bbox="468 1094 1072 1209">防火管理者 現在3名 → 引き続き3名体制維持 【定性目標】運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修。館内外の簡易な補修はスタッフで。</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	研 修 内 容	採用時研修	新規採用職員全員に対し、「協会の使命」「地区センターの目的と役割」「勤務内容（接遇含）」「人権・個人情報保護」「消防訓練」等の実施	業務・危機管理研修	指導員・スタッフを対象に、接遇を始め日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」や、個人情報漏えい防止のため「個人情報保護研修」、A E Dや消火器操作の「消防救助訓練」、警察官を招いての「防犯研修」等の実施	職場緊急研修	万が一事故事件が発生した時、又、他での事例が発生した時に、職場全体で問題や解決策を共有し、発生防止に努める	【数値目標】	防火管理者 現在3名 → 引き続き3名体制維持 【定性目標】運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修。館内外の簡易な補修はスタッフで。			
種 類	研 修 内 容													
採用時研修	新規採用職員全員に対し、「協会の使命」「地区センターの目的と役割」「勤務内容（接遇含）」「人権・個人情報保護」「消防訓練」等の実施													
業務・危機管理研修	指導員・スタッフを対象に、接遇を始め日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」や、個人情報漏えい防止のため「個人情報保護研修」、A E Dや消火器操作の「消防救助訓練」、警察官を招いての「防犯研修」等の実施													
職場緊急研修	万が一事故事件が発生した時、又、他での事例が発生した時に、職場全体で問題や解決策を共有し、発生防止に努める													
【数値目標】	防火管理者 現在3名 → 引き続き3名体制維持 【定性目標】運営に必要な能力・資質の向上を図るため、研修。館内外の簡易な補修はスタッフで。													
財務	<p>事業計画書</p> <p>(6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方々が、気持ちよく、安心・安全に利用できるよう、資格や専門知識の必要な分野は、専門業者に委託。</li> <li>・建物内外の損傷状況、ELV、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水衛生設備などの保</li> </ul>													

<p>守点検は、専門業者に委託。 ・建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが毎日点検。</p>			
<p>(7)ア 収入計画の考え方 ・自主財源の確保に一層努力し、企業からの協賛等を導入し、経費の節減と収入増を。地区センター利用のP Rや魅力ある自主事業の企画・実施など部屋の稼働率を高め、利用料金の収入増と少額収入も細かく。 <b>【数値目標】</b> <b>R 6目標 4, 682千円</b> R 5実績 5, 142千円</p>			
<p>イ 増収策 ・祝日夜間（17:00～19:00）、年末年始（9:00～19:00）に臨時開館を実施。 ・利用料金値上げを申請。 ・抽選申し込みは月5小間まで、その後の一般予約は小間制限なし。未登録団体は抽選2、一般2小間を上限に。 ・当日利用で、会議室に1コマ(2H又は3H)に満たない空きがある場合、当日利用希望者に時間貸し。</p>			



ウ 支出計画ウ 支出計画

項目	内容等		金額
人件費	職員・スタッフ	センター長 1名、チーフコーディネーター 1名サブコーディネーター 2名、スタッフ 14名	21,774
	社会保険料等	社会保険料、健康診断費、福祉共済掛金	1,372
	小計		23,146
事務費	事務費	消耗品費、図書購入費、備品購入費、リース料等	1,377
自主事業費		講師謝金、材料費、保険等	1,410
管理費 A (a)	光熱水費	電気、ガス、水道料金	8,500
	修繕費	設備、備品等の小破修繕	715
管理費 B (b)	清掃費	日常清掃、定期清掃、害虫駆除等	1,900
	施設管理保守	消防設備、空調設備、エレベーター包括点検等	3,412
	小計		6,027
公租公課		消費税等	2,647
事務経費		労務、経理、職員研修等	2,174
ニーズ対応費		ニーズ対応費	1,561
施設管理運営経費			46,842

・人件費 20,019  
 ・事務費 1,827  
 ・自主事業費 1,761  
 ・光熱水費 8,460  
 ・修繕費 1,906  
 ・清掃費 1,389  
 ・設備管理保守 3,066  
 ・ニーズ対応費 1,948  
 (R5実績)

(4)カ ニーズ対応費の使途 (地区センターのみ)

・費用対効果が大いニーズに対応。インターネット予約システムの運営費、毎年ニーズの高い「ハーモニーみどりまつり」や、高齢者や子育て中の保護者に向けた支援となるような、室内改修、備品・消耗品類の購入。

その他  
 (上記  
 4つの視  
 点以外

の項目があれば追記)				
利用者等の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者意見箱からの意見や、自主事業終了後のアンケートの分析、「利用者会議」の開催。</li> <li>・利用者とコミュニケーションをとる中で、利用者ニーズを把握。</li> </ul>			

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載